



京 都 城 陽

Industrial Vision for Bright Development

産 業 が が や き ビ ジ ョ ン

Summary
Version

～城陽新時代

人とモノが行きかうハブ都市～



城 陽 市



策定概要

市の大きな環境変化を踏まえ、城陽新時代にふさわしい「職・住・遊・学」の産業の基盤強化と振興策を戦略的かつ効果的に進めるため、市の産業振興の指針となるビジョンを掲げました。

背景

昨今、市では新たな産業の立地が進み、また、2023年度に予定されている新名神高速道路の全線開通を契機に、近畿の要衝として、これまでのベッドタウンのまちから、大きな環境の変化が生じようとしています。

目的

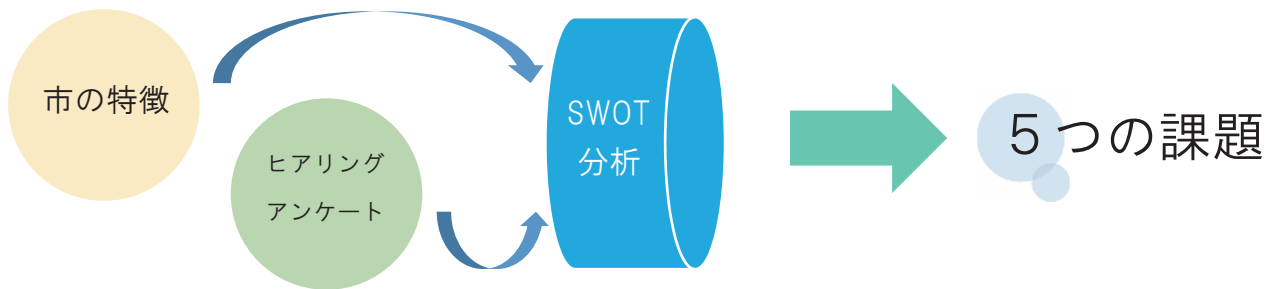
これらを絶好のチャンスと捉え、城陽新時代にふさわしい「職・住・遊・学」の産業の基盤強化と振興策を戦略的かつ効果的に進めるため、「京都城陽 産業かがやきビジョン」を策定するものです。

計画期間

大規模なプロジェクト等が進む10年先を見据え、2018年度から2022年度までの5年間を計画期間とします。

課題整理

本市産業の現状、各団体へのヒアリング及び事業所へのアンケート調査等を踏まえて、SWOT分析を利用し、市が産業振興として取り組むべき5つの課題を整理しました。



SWOT分析…外部要因や内部要因を強み（Strengths）、弱み（Weaknesses）、機会（Opportunities）、脅威（Threats）の4カテゴリーで要因分析したもの。

- 課題1 『既存・新規事業者への支援』
- 課題2 『開発インパクトを活かした産業の再活性化』
- 課題3 『市内外のネットワーク化のさらなる促進』
- 課題4 『魅力づくりとPRの強化』
- 課題5 『人材確保や後継者育成の強化』

目指す姿

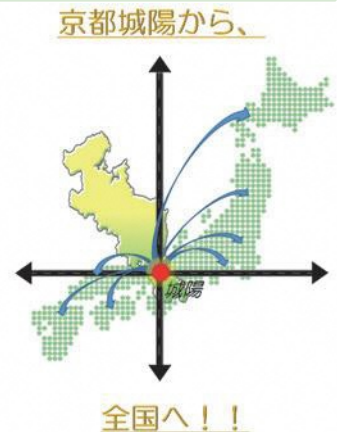
市の特徴や、課題整理をふまえ、これからの市の産業の目指す姿を以下のとおり定めました。

城陽新時代 人とモノが行きかうハブ都市

【コンセプト】

近畿の要衝としての良好な交通利便性、開発インパクトの波及効果、また市内で頑張る事業者を「追い風」として、城陽市産業の目指す姿を「城陽新時代 人とモノが行きかうハブ都市」と定めます。

このフレーズには、これまでのベッドタウンから、市の交通利便性を活かし、あらゆる人とモノが集まる都市として、大きく飛躍するというメッセージを込めています。



達成目標値

後述の重点プロジェクトを通じて以下の目標値の達成を目指します。

KPI

重点	指標名	現状値	目標値（5年後）
A	マッチング事業に関わる企業数	24企業	200企業
	人材確保による高校・大学等とのスキーム構築	なし	10件
B	ジョーカンネット会員数	33団体	100団体
	新市街地（久世荒内・寺田塚本地区）進出企業の協議体等の形成の促進	なし	形成
	近隣自治体や企業体との産業連携体数	1件	5件
C	東部丘陵地先行整備地区の立地企業の確立	0%	100%
	6次産業化総合化事業計画の認定事業者数	2件	5件
	新商品開発数	3商品	25商品

施策体系

「城陽新時代 人とモノが行きかうハブ都市」の実現のため、4つの施策の展開に沿って、16の施策の柱に基づく54の施策と、その中の3つの施策群を重点プロジェクトとして推進します。

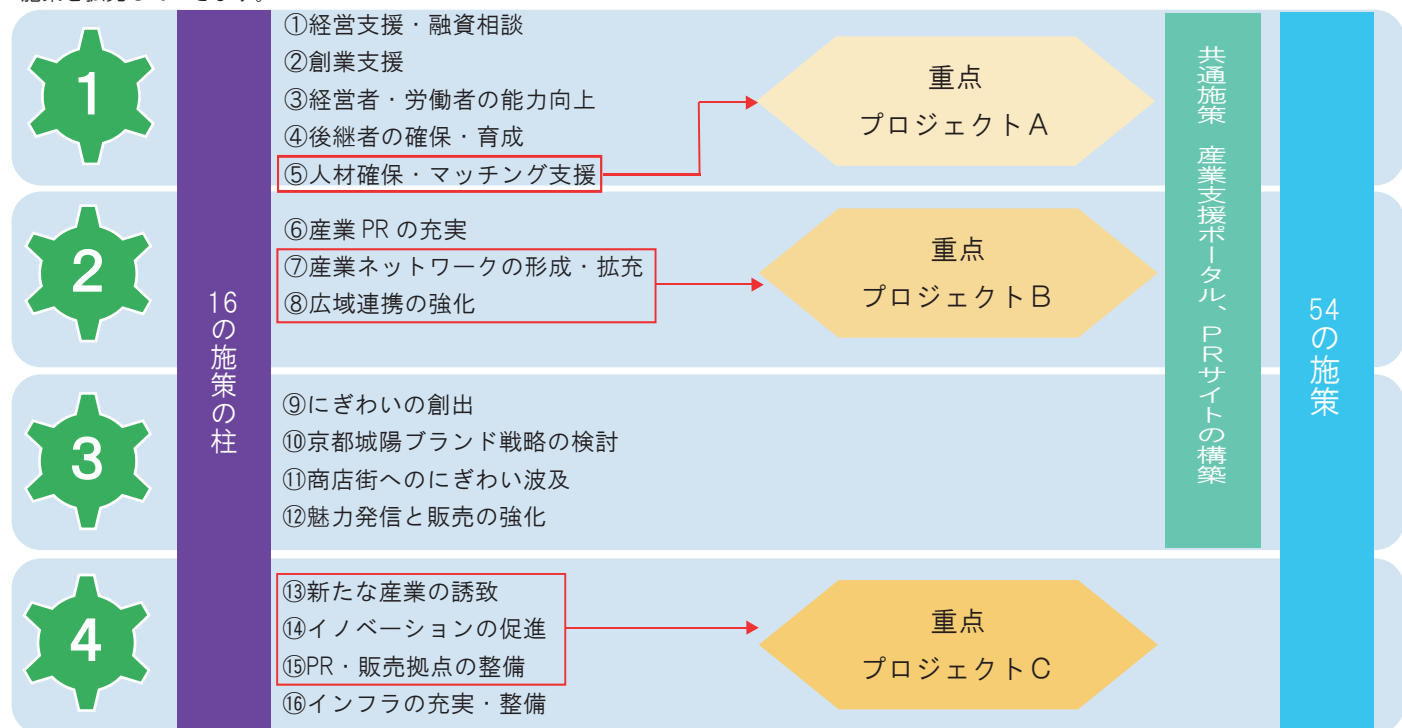


市を中心に、関係団体や産業支援機関との連携のもと、事業規模に関わらず、既存及び新規事業者の経営や創業、事業承継に関する幅広い支援を提供します。また、人材面においては、各種説明会を通じた人材確保・マッチング支援など、事業者の支援ニーズが高い施策を拡充していきます。

産業PRの充実により、市内産業の競争力底上げを図るとともに、多層的に事業者、自治体・産業支援機関とのネットワーク形成を図ります。

市の特色ある特産品、各種イベント等が持つ魅力をさらに掘り起こすとともに、京都城陽ブランド戦略の検討や、立地が見込まれるアウトレットモール等との連携、外部への魅力発信と販売を強化していきます。

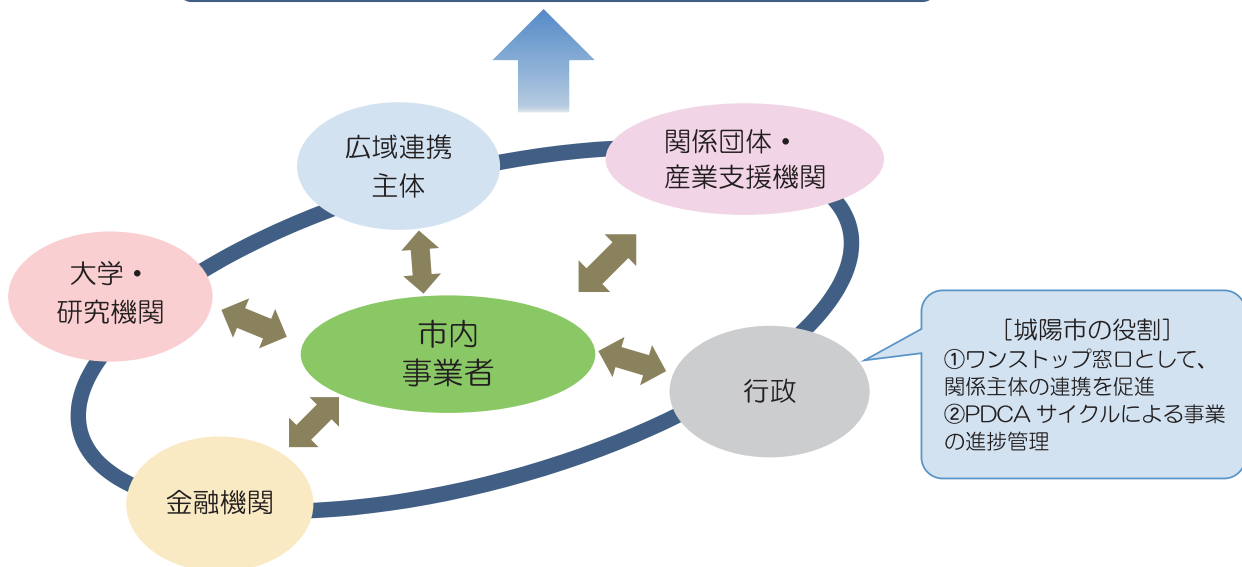
未来の市の飛躍に向けて、イノベーションの促進やPR・販売拠点の整備、ハブ都市に相応しい新たな産業の誘致・集積に向けた取り組みを行います。



推進体制

関係主体が目標を共有し、一丸となって各施策の着実な実行を通じた産業振興に取り組むことで、「城陽新時代 人とモノが行きかうハブ都市」の実現を目指します。

～明日のかがやく城陽の産業を目指して～



重点プロジェクト

「城陽新時代 人とモノが行きかうハブ都市」の実現に向け、以下の3つの施策群を重点プロジェクトと位置付け、相互に関連させながら取り組みます。

重点プロジェクトA ～産業人材マッチングプロジェクト～

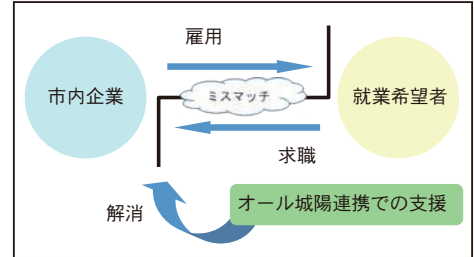
人材

市内企業の人材面での課題に対して「オール城陽連携」での支援体制を構築し、手厚い支援を行います。

プロジェクトイメージ

◆人材確保・マッチング支援

- 正規・非正規雇用を問わず、市内で開催している企業説明会の拡充。
- 市内事業者の大阪都市圏や首都圏等での企業説明会への参加支援の検討。
- 学生インターンシップの促進。
- 市内企業紹介誌を活用した市内企業のPRによるマッチング強化。
- 多様な働き方のできる環境支援。
- 事業所や求職者に対し、子育て支援や女性活躍等に係る市の施策情報を発信。



重点プロジェクトB ～産業ネットワーク構築プロジェクト～

連携

市内外に多層的なネットワークを形成し、効果的な企業支援やPRを行います。

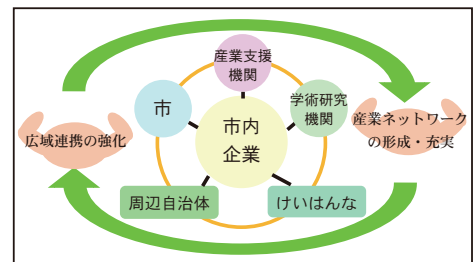
プロジェクトイメージ

◆産業ネットワークの形成・拡充

- 市内の事業所を訪問し、景気動向や経営課題、支援ニーズ等に関する基礎情報を収集。
- 上記のデータベース化と支援施策の検討。
- 事業規模に関わらず、ジョーカンネットの拡充などを通じた産学官連携の促進。
- 若手事業者との連携ネットワークの構築。
- 新市街地（久世荒内・寺田塚本地区）進出企業の協議体等の形成を促進。

◆広域連携の強化

- 周辺自治体との連携・情報共有。
- けいはんな学研都市との連携・情報収集。



重点プロジェクトC ～新産業創出プロジェクト～

新産業

イノベーション支援により、産業の高度化、高付加価値化を促進し、併せて、PR・販売拠点の整備や新たな産業の誘致・集積に向けて、中長期的に方向性を検討します。

プロジェクトイメージ

◆新たな産業の誘致・集積

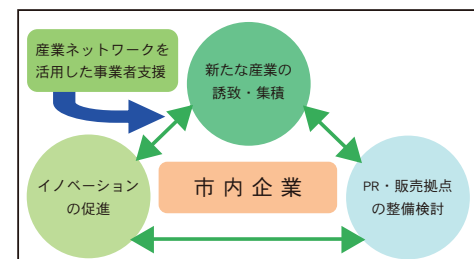
- 立地が見込まれるアウトレットモール周辺地域の戦略の検討。
- アウトレットモールを軸とした周辺環境の整備検討。
- 産業誘致に成功した自治体の誘致戦略や事例調査の実施。
- 誘致を検討する企業等に対し、子育て支援や女性活躍等に係る市の施策情報を発信。

◆イノベーションの促進

- 新製品・商品の開発や6次産業化及び農商工連携の促進支援。

◆PR・販売拠点の整備検討

- 市内製品のPR拠点及び事業者の新たな販売拠点の整備に向けた実現可能性調査を実施。



京都城陽 産業かがやきビジョン ～城陽新時代 人とモノが行きかうハブ都市～ (Summary Version)

発行年月：平成30年8月

編集：城陽市まちづくり活性部商工観光課
〒610-0195 城陽市寺田東ノ口16番地、17番地

TEL：0774-56-4018
FAX：0774-56-3999